

(形態別介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Jさん(72歳、女性)は活動的で友人と買い物や旅行などによく行っていた。娘(40歳)は働いているため、Jさんは家事全般を引き受けていた。しかし、4か月前に路上で転倒し大腿骨頸部骨折(femoral neck fracture)をした。入院治療を行い退院し、多少は歩くことができるようになったが、要介護1と認定され、訪問介護が導入された。退院後のJさんは気力の低下が著しく、家から出ることがなくなったが、友人が毎日Jさんを訪問していた。この頃からJさんはいらいらしやすい、気が焦る、よく眠れないと訴えるようになった。病院受診の結果うつ病(depression)と診断され内服治療が開始された。最近はやっとしたことをあれこれ心配し、「お腹が痛むから、がん(cancer)ではないかしら・・・」と言い出した。

問題 112 最近のJさんの症状として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 心気症状
- 2 誇大妄想
- 3 言語新作
- 4 感情失禁
- 5 陰性症状

問題 113 訪問介護員のJさんへの支援として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 病気は良くなる一方だと説明した。
- 2 気分転換のため散歩に誘った。
- 3 朝方には気分が良くなると説明した。
- 4 十分に休養をとるように話し合った。
- 5 一人になれるようにそっとしておいた。

問題 114 うつ病と診断され2か月が経過した。Jさんのいらいらや気が焦るなどの症状も軽減してきたが、ある日訪問すると「消えてしまいたいと思う時があるの」と言った。訪問介護員の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 隣人を訪問するように助言した。
- 2 Jさんの状況について医療職に伝えた。
- 3 簡単な調理を一緒に行った。
- 4 気持ちを明るくもつよう指導した。
- 5 激励の言葉をかけるように娘にメモを残した。

(形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

Kさん(70歳, 女性, 要介護2)は, 夫(78歳)と息子(45歳, 会社員)とで同居している。Kさんは, 40年来関節リウマチ(rheumatoid arthritis)に罹患し薬を服用し, 頸椎カラーを装着している。現在, 両手・肩・^{また}股・足関節に関節可動域制限があり, 手は足先までは届かない。ベッド上では自力で起き上がりはできるが, ベッドからの立ち上がりには介助が必要で, 歩行器での歩行が可能である。息子は仕事から帰ると積極的に介護や家事をしてくれる。日中の生活援助は週3回の訪問介護員が行い, 身体介助は夫が行っていた。最近, 夫の左肩に痛みが生じ, 訪問介護員に「今までのようによく妻の介助ができない」と漏らすようになった。

問題 115 Kさんの日常生活への助言として, 適切なものを一つ選びなさい。

- 1 マグカップは柄を持つ。
- 2 枕は高くする。
- 3 歩行は四脚つえを利用する。
- 4 床の物はしゃがんで拾う。
- 5 ソックスエイドを利用する。

問題 116 Kさんのベッドからの立ち上がりを介助するため, ベッドの端に座ってもらった。訪問介護員が次に行くこととして, 最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 手を介護者の首に回して組んでもらう。
- 2 ベッド柵を強く握ってもらう。
- 3 両足底を床につけ, ベッドの高さを調節する。
- 4 頸部と体幹を十分に前屈してもらう。
- 5 介助用リフターをベッド脇に運ぶ。

問題 117 夫に対する訪問介護員の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「まだ、やればできるから頑張ってください」
- 2 「身体介助は私が代わりましょうか」
- 3 「息子さんに介助してもらうように頼んでください」
- 4 「肩の痛みは、どんどん動かすことで治まりますよ」
- 5 「介助のどのあたりが難しくなったのかを教えてください」

(形態別介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

〔事例〕

Lさん(78歳、男性)は、脳卒中(stroke)後遺症で左片麻痺と麻痺性構音障害がある。自宅復帰を目的に、つい先日、病院から介護老人保健施設に入所したところである。妻によるとLさんは若いころから口数が少なく控えめな人だという。

現在、Lさんの発語ははっきり聞き取れない状態である。リハビリ室では言語聴覚士と共に、ゆっくり単語を話す練習をしている。Lさんは普段は穏やかだが妻の面会時に、顔を真っ赤にして怒っている様子が見られた。その後、妻が介護従事者に「私に来るといつも夫が怒るんです。つらくて・・・」と相談に来た。

問題 118 Lさんの状態として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 舌や声帯などをスムーズに動かすことができない。
- 2 言いたいことを言葉として思い浮かべることができない。
- 3 聞くことができない。
- 4 会話の内容を理解することができない。
- 5 文章を読んで理解することができない。

問題 119 Lさんの食事の支援方法として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 介助する場合、左側から介助する。
- 2 スプーンは大きめのものにする。
- 3 喉にゴロゴロという音(湿性嘔声)がしたら、食事は一旦中止する。
- 4 嚥下のペースが遅くなれば、介助者が介助して食べてもらう。
- 5 好きなテレビ番組を見ながら食べる。

問題 120 妻への返答として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 「気にしない方がいいですよ」
- 2 「つらいですね」
- 3 「こちらでしばらく様子を見てみましょう」
- 4 「何か思い当たることがありますか」
- 5 「ご主人を含めて、3人でゆっくり話しましょうか」